

# 産総研における女性研究者支援策

独立行政法人 産業技術総合研究所

曾良達生



# 独立行政法人 産業技術総合研究所 概要

## 設立

- 2001年:15工技院研究所が統合、独立行政法人化

## 基本理念

- 産業技術の向上を通して社会の発展への寄与

## ミッション

- 持続的发展可能な社会実現への貢献
- 産業競争力等への貢献
- 産業政策の地域展開への貢献
- 産業技術政策立案等への貢献

# 男女共同参画社会実現への決意

## 産業技術総合研究所 男女共同参画宣言

産総研は、多様な視点をもつ人々が共に働くことで

研究そのものが真に豊かになり、

より社会に有益なものになるとの確信のもと、

男女の別にかかわらず個人の能力を存分に発揮できる

環境の実現を目指します。

そのために、産総研のさまざまなシステムや職場環境の改善に加え、

社会における諸活動に参加しつつ、

科学技術分野への女性のさらなる参画を推進します

2006年2月10日 独立行政法人 産業技術総合研究所

# 産総研が重点的に取り組んでいる男女共同参画施策

## 「男女共同参画基本計画」第2部 施策の基本的方向と具体的施策

1. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
2. 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革
3. 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保
4. 活力のある農山漁村の実現に向けた男女共同参画の確立
5. 男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援
6. 高齢者等が安心して暮らせる条件の整備
7. 女性に対するあらゆる暴力の根絶
8. 生涯を通じた女性の健康支援
9. メディアにおける男女共同参画の推進
10. 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実
11. 地球社会の「平等・開発・平和」への貢献
12. 新たな取組を必要とする分野における男女共同参画の推進

4項目に取り組んでいます

# 課題解決のためのアクションプラン案

---

(平成18年1月20日 男女共同参画推進委員会)

1. 男女共同参画の意識喚起・啓蒙のための方策
2. 女性職員の採用増大のための方策
3. キャリア形成および方針策定プロセスへの共同参加のための方策
4. 勤務環境整備のための方策
5. 男女共同参画の総合推進

# 1. 男女共同参画の意識喚起・啓蒙のための方策

平成18年度 - 19年度 新規取組

## ☆ 産総研内外への意識喚起・啓蒙

- ・講演会、ワークショップ

ワークライフバランスを考える - イノベーション創出への実践 -

2007年11月26日 梅田スカイビル(大阪)

- ・男女共同参画シンポジウム

イノベーション創出とダイバシティ - 男女共同参画実践の立場からの提言 -

2007年2月14日 産総研臨海副都心センター(東京)

## ☆ 産総研職員(契約職員を含む)への意識喚起・啓蒙

- ・所内研修(新規管理職研修、新規採用職員研修、契約職員研修)

男女共同参画による個人と組織の活性化 -ダイバシティ マネジメントとワーク ライフ バランス-

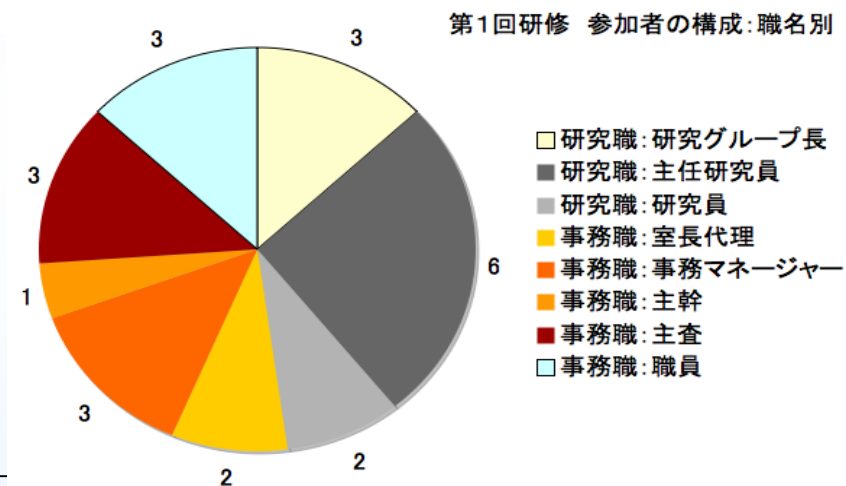
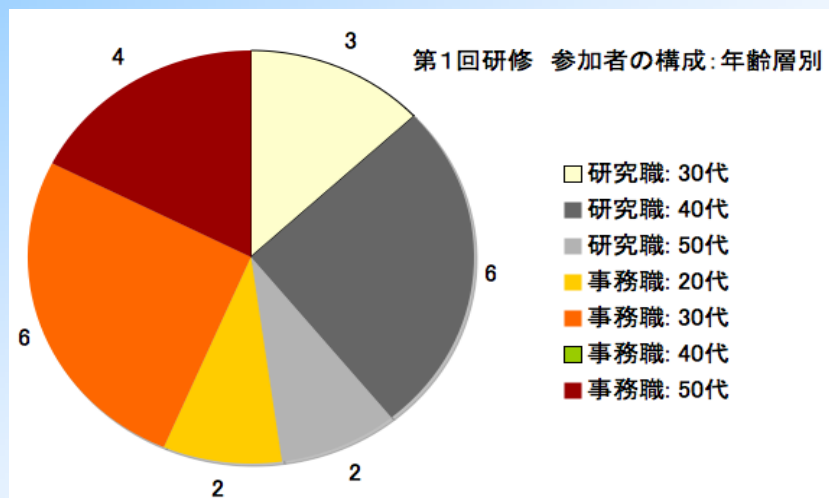
## ☆ 女性職員の自己啓発・キャリア形成

- ・女性職員エンカレッジング研修 (JST事業)

次回は  
2008年5月21  
日大阪で開催  
予定

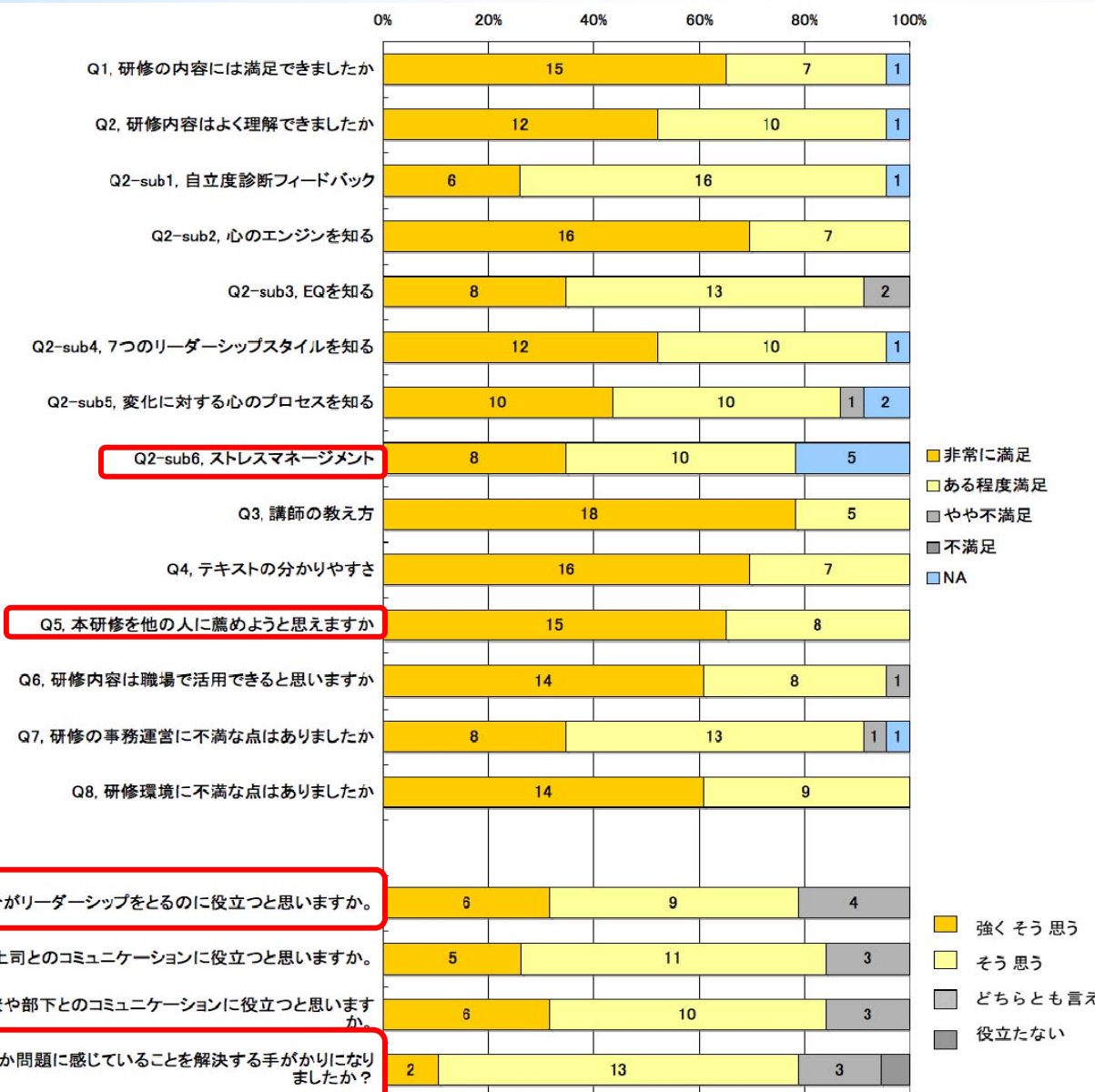


# 第1回 女性職員エンカレッジング研修参加者の構成





# 女性職員エンカレッジング研修後のアンケート集計





## 4. 勤務環境整備のための方策（ワークライフバランス支援）

平成18年度－19年度 導入策

### ☆ 安心して育児／介護休業できるように

- ・任期付研究員の任期延長
- ・育休期間も長期評価をうける勤務（経験）年数としてカウント
- ・産休・育休中の研究・業務補助員制度（代替要員制度の拡充）

### ☆ 安心して仕事と育児を両立できるように

- ・一時預り保育支援制度の拡充
- ・育児特別休暇制度

### ☆ 将来の介護に向けて不安を解消するために

- ・介護に関する勉強会

# 産総研の出産・育児支援策

## 産総研の便利な制度

- フレックスタイム制、裁量労働制の活用
- 一時預り保育支援制度
- 子育て支援に関する窓口
- 共済組合の電話健康相談
- 任期付研究員任期延長
- 産休・育休中の研究・業務補助員制度
- 産総研イントラへのアクセスとパソコンの貸与
- 在宅英語通信講座受講費用の負担

## 子育て支援情報

### ■『子育て広場』

産総研の子育て支援制度についてのパンフレット

### ■『子育て情報交換掲示板』

子育てに関する情報交換サイト

所内ウェブサイトのトップページからアクセスできます

## 取得できる休暇(休業)

- 産前の特別休暇
- 妻の出産に係る男性職員の特別休暇
- 配偶者出産の特別休暇
- 産後の終業制限
- 育児時間
- 育児部分休業**      **育児休業**
- 小学校就学前の子の看護のための特別休暇
- 妊産婦である女性職員の就業制限
- 妊娠中の女性職員の通勤緩和
- 時間外労働の制限
- 深夜労働の制限
- 育児特別休暇・

New!

# 一時預り保育支援制度とは

## 職員及び契約職員が

通常は子供を保育する者(外の保育所、配偶者等)がいるが、**子供の軽微な病気等**により保育所に預けられない場合や**配偶者等が病気**になり子供を保育できない場合に利用可能。

**一時預り保育所**は、つくばセンターにおいては平成13年7月に設置。平成18年4月から中部センター(志段味)及び関西センター(池田)に設置するとともに、保育所を設置しないセンター等においては、産総研が民間託児所等と法人契約を行い、**民間託児所又はベビーシッター**が利用可能に。

子を一時的に預けなければ**国内出張先(日帰り出張含む)**での業務に就くことが難しいと認められる場合に、一時預り保育所・民間託児所又はベビーシッターが利用可能。

# 産総研の所内一時預り保育施設

## プチ・チェリー つくば

部屋数・・・・・・乳幼児1、児童2  
 室内総面積・・・乳幼児73m<sup>2</sup>、児童60m<sup>2</sup>  
 庭面積・・・・・・45m<sup>2</sup>



## プチ・チェリー 関西

部屋数・・・・・・2  
 室内総面積・・・64m<sup>2</sup>



## りとる オーク

部屋数・・・・・・2  
 室内総面積・・・33m<sup>2</sup>

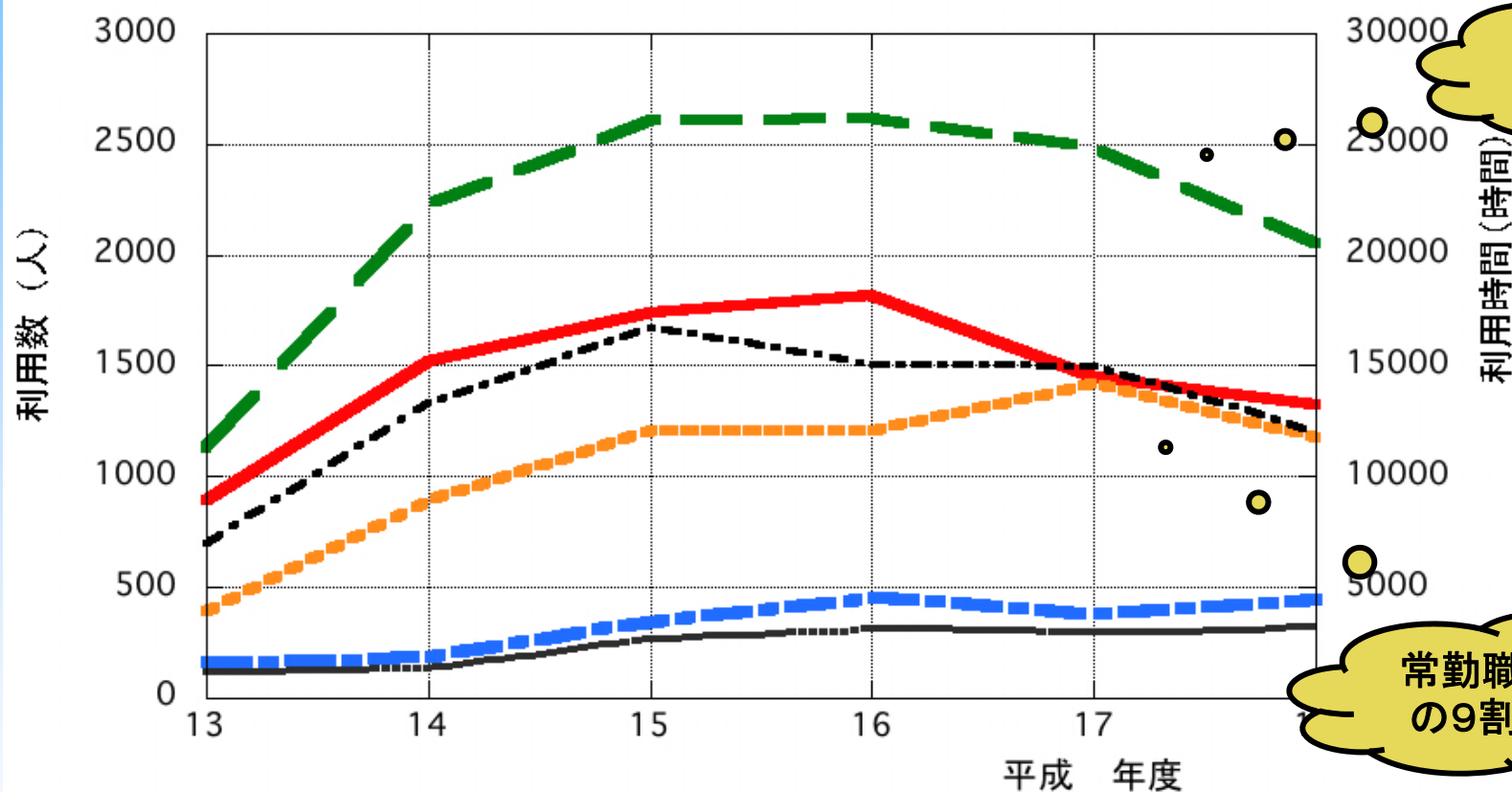


# 所内一時預り保育所の運営形式など(つくば、中部及び関西センター)

運営形式	託児業者への業務委託。つくばセンターは <u>保育士常駐型</u> 、中部センターと関西センターは <u>保育士派遣型</u> 。
利用対象者	産総研の <u>常勤・契約職員</u> の子供
利用対象年齢	<u>乳児</u> (生後3ヶ月以上)～ <u>就学前</u> (学休期間中は <u>小学生</u> も可)
託児可能時間帯	<u>8時～20時</u> (保護者の勤務している時間内に限る) ※関西センターについては、8時30分～18時
利用申し込み方法	利用予定日の <u>前日16時</u> までに申請書を提出(※関西センターについては、利用予定日の前々日16時までに申請書を提出)。ただし、定員に余裕のある場合は当日申し込みも可能。
1日あたりの平均利用者数・定員	<u>つくばセンター</u> : <u>延べ約12名</u> (時間単位で出入りあり)定員15名程度 中部センター: <u>定員5名程度</u> (乳幼児＋児童) 関西センター: <u>定員10名程度</u> (乳幼児＋児童)
シッターの人数	基本は <u>つくばセンター2名</u> 、 <u>中部及び関西センターは1名</u> 。子供の人数に応じて1～2名の追加派遣あり。
利用料金	年齢により、 <u>150円/30分～50円/30分</u>



# プチ・チェリー（つくば）年度別利用実績



利用者の半数は  
契約職員です

常勤職員の利用者の  
9割が男性です



# 保育士派遣型の得失

## 派遣型の利点:

○ランニングコストが小さく、少人数の事業所でも開設可能である。

○運営時間が柔軟であり、開設期間を長くすることができ、施設が利用できれば24時間対応や数日に渡る保育も可能である(プチ・チェリー及び中部Cでは20時まで、関西Cでは18時まで)。

## 派遣型の欠点:

×常駐型では空きがあれば当日でも保育が可能であるが、派遣型では前もって(前日や前々日に)予約が必要。

→緊急に(当日)利用が必要となった場合にも、できる限り研究業務推進室で対応するシステムを作っている。

×保育士が常駐しないので、布団干しなどを事業所で行う必要がある。

→研究業務推進室が託児室の協力でこの作業を行っている。

×新しい保育士が来るたびに安全ガイドラインを説明しなければならない。

→保育士派遣会社の協力により、事情の分かっている保育士の派遣の便宜を図ってくれる。

## 保育士常駐型と派遣型のコスト比較

産総研負担時間単価 = (委託業者への支払額 - 利用料) / 利用時間数合計

[常駐型(つくばC)] (13,153,000円 - 3,830,000円) / 15,222時間 = 612円/時間

[派遣型(中部C)] ( 816,367円 - 72,750円) / 328時間 = 2,270円/時間

[派遣型(関西C)] ( 595,575円 - 51,600円) / 263時間 = 2,300円/時間



- \* 派遣型は、トータルな費用としては低い
- \* 単位時間コストは、派遣型は常駐型の約4倍

# 育児特別休暇制度の導入

## 制度の概要

- 目的:産総研の子育て支援策の一環として、職員が積極的に育児に参加できるように特別休暇を新たに新設。
- 取得条件等:養育する子が3才までの期間において、3年間で10日間(日単位で分割可能とする)の取得が可能。  
(ただし、当該養育する子よりも出生日の遅い子を新たに養育することとなった場合には、それまでに付与されていた休暇に変えて新たに10日を付与する。)
- 取得単位:1日
- 実施開始日:平成19年4月1日



# 育児特別休暇制度導入の結果と考察

- H19.4.1～H19.9.12までの間に
  - 全利用者数 37名
  - 全利用日数 125日
- 現在のところ、利用日数は1～4日が多い。

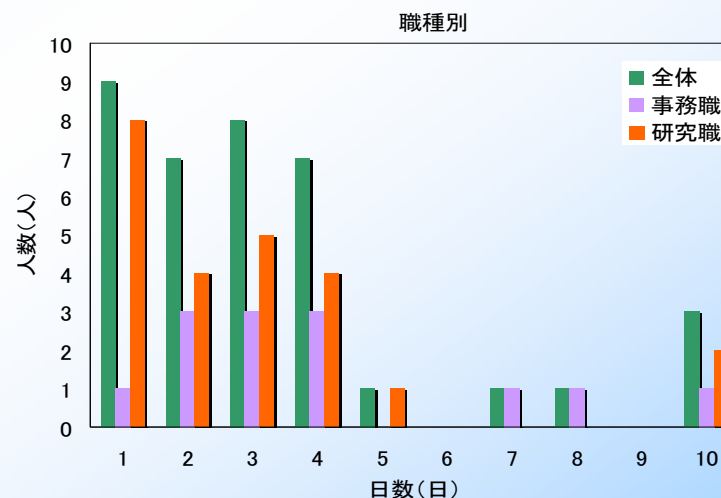
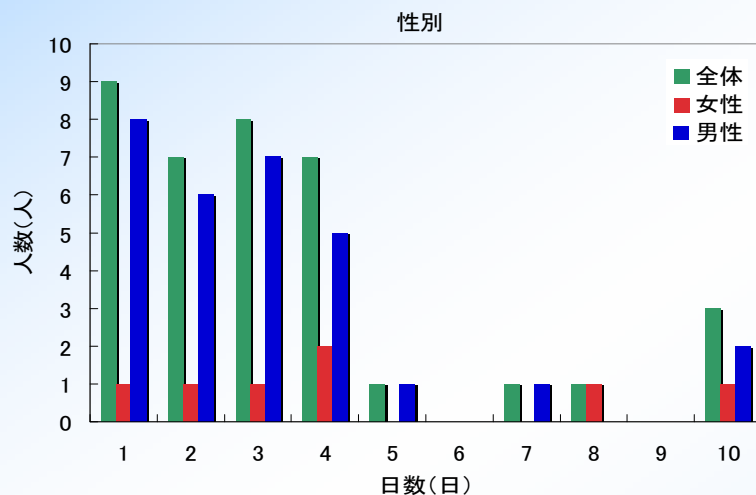


表1 育児特別休暇利用実績(2007.4.1～2007.9.12)

■育児特別休暇制度を導入した結果、休暇制度が育児休業に比べ、**男性・研究職**の育児目的の休日取得に貢献している。

# 育児特別休暇制度導入の結果と考察

- ・ 男性の取得率は、育児休業に比べ育児特別休暇のほうが高い ( $\chi^2$ 検定  $p<0.01$ )
- ・ 研究職の取得率も同上 ( $\chi^2$ 検定  $p<0.01$ )
- ・ 取得日数は男性より女性のほうが依然として多い傾向  
(ただし有意差なし Wilcoxonの順位和検定  $p>0.05$ )



表1 育児特別休暇利用実績(人数、日数の合計および代表値)(2007.4.1~2007.9.12)

	合計	女性	男性	事務職	研究職
利用人数(人)	37	7	30	13	24
利用日数合計(日)	125	32	93	53	72
利用日数平均値(日)	3.38	4.57	3.10	4.08	3.00
利用日数中央値(日)	3	5	4	3	3.5
利用日数最頻値(日)	1	4	1	3	1

表2 (参考)育児休業利用実績(性別はH16年度、職種別はH17年度)

	女性	男性	事務職	研究職
利用人数(人)	12	2	14	4

# 独立行政法人等女性参画状況 調査の結果について

平成19年4月

## 内閣府男女共同参画局

報告書の最後のページの参考資料として

【先進的な取組の紹介】



産総研の取組みが  
先進的事例として選  
ばれました

調査の対象 :329法人

独立行政法人、特殊法人及び認可法人(148法人)

国立大学法人及び公立大学法人(109法人)

[参考]法人化していない公立大学及び公立短期大学  
(72大学)

【先進的な取組の紹介】

(参考資料)

独立行政法人産業技術総合研究所の男女共同参画の取組について

### ○ 推進体制

- ・ 平成 17 年5月、理事・ユニット長で構成される「男女共同参画推進委員会」を設置、現状の分析、具体的アクションプラン等について検討。
- ・ 平成 18 年4月、理事長直轄部署として「男女共同参画室」を新設。

### ○ 目標等

- ・ 第2期中期計画において、第2期中期目標期間末(平成 21 年度)までに女性研究職員の採用比率を第1期中期目標期間の採用実績から倍増する(13.8%以上)という目標値を設定(平成 17 年3月)。
- ・ 「産業技術総合研究所男女共同参画宣言」を公表(平成 18 年2月)。

### ○ 両立支援の取組

- ・ 一時預かり託児施設(愛称:プチ・チェリー、りとるオーク、プチ・チェリー関西)を事業所内3か所設置。その他の事業所は民間託児所と法人契約。
  - ※ 子どもの軽微な病気等により保育所に預けられない場合や配偶者等が病気になり子どもを保育できない場合など、職員が業務を休む代わりに一時的に保育する施設。
- ・ ベビーシッター補助制度の導入。
- ・ 任期付研究員に対して、産休及び育児休業期間は評価を受けるための在級年数から除算しないことを決定。
- ・ 育児特別休暇制度の導入を決定。
  - ※ 3歳に達するまでの子ども(配偶者の子どもを含む)を養育する職員を対象とし、子どもが3歳に至るまでの期間10日間に給付休暇を付与。
- ・ 産休・育休者の代替要員確保制度及びその弾力的な運用

### ○ 意識啓発の取組

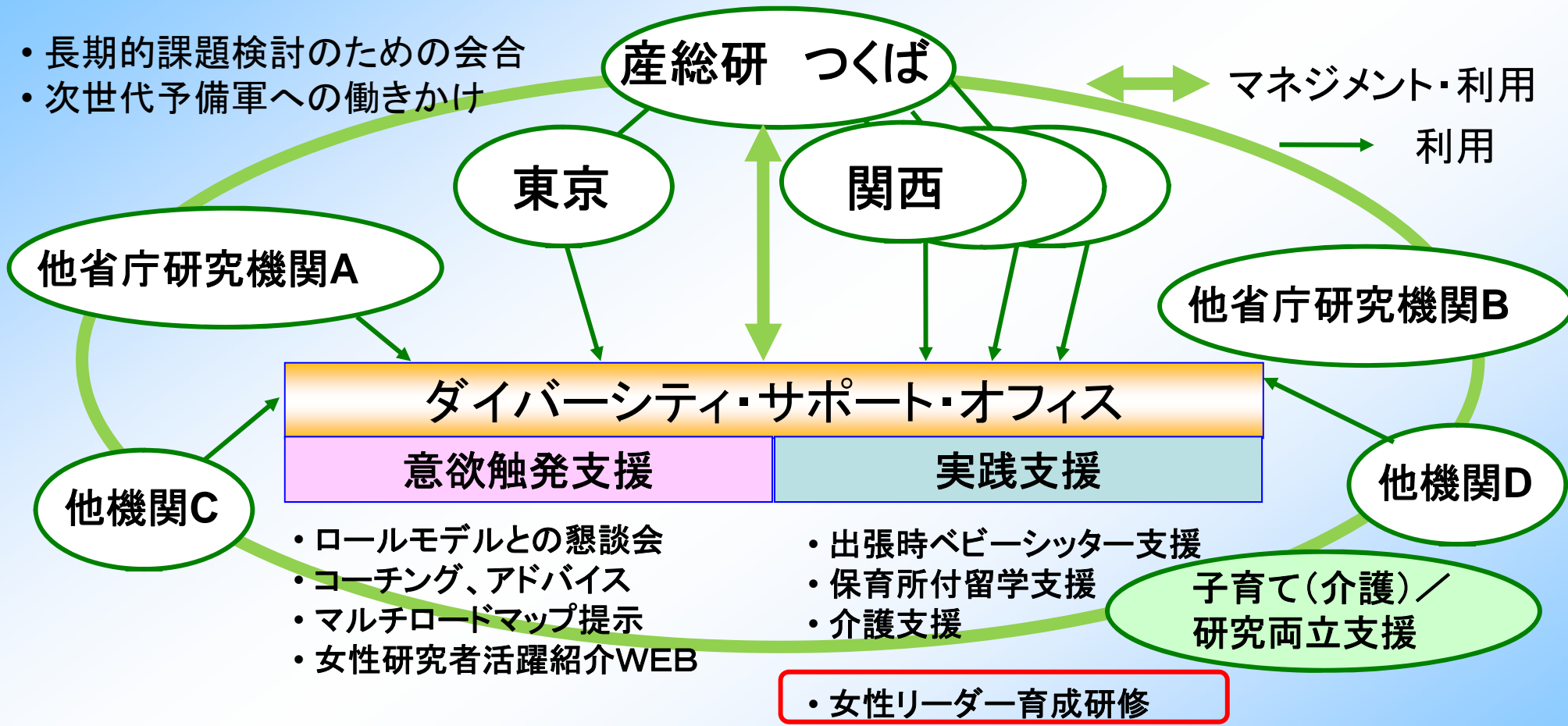
- ・ 新規管理職研修において女性活用の重要性について啓発するカリキュラムを実施。
- ・ 意識改革のため、男女共同参画講演会・シンポジウムを実施。



# 産総研 実施課題「女性研究者グローバルエンカレッジ」(平成19ー21年度)

実施内容: 産総研内外へ意欲触発と実践の支援

- ・ 長期的課題検討のための会合
- ・ 次世代予備軍への働きかけ



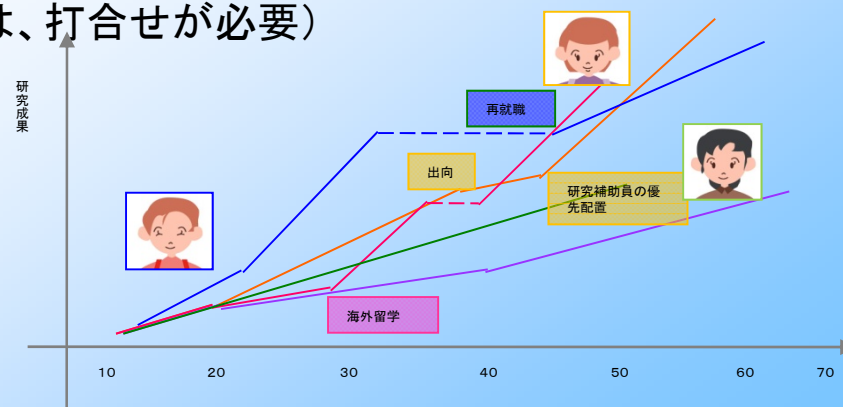
ノウハウの蓄積・発信

知識: データベース化、WEB公開  
 人材: プロフェッショナルアドバイザー養成

公的機関等の女性研究者支援の拡大

# ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)事業の4本柱

1. 産総研の女性研究者「実践支援」のノウハウの提供
  - 所内一時預り保育所の運営ノウハウ
  - カウンセリング、相談ノウハウ
2. 参加機関相互のノウハウの交流
3. 女性研究者向けの意欲触発支援サービス
  - 参加研究機関の女性研究者向け
    - ・ ロールモデルとの懇談会、女性職員研修オブザーバー参加
    - ・ キャリアアドバイザーおよびキャリアカウンセラーとの懇談会
    - ・ カウンセリング（個別サービスについては、打合せが必要）
4. 知識データベースを共に構築
  - 女性研究者支援WEB等



# ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO) 運営会則 と 今後の予定

- 目的 女性研究者支援
- 会員 原則として研究機関
- 会費 無料
- 予定行事
  - 11月以降 DSOセミナー 年度内 4回
    - ロールモデルとの懇談(2/19に開催予定)
      - 対象: 女性研究者
    - キャリアカウンセラーによる会合
      - 対象: 女性研究者、管理者、外国人研究者、etc.
  - 2月頃 DSO運営委員会
- 入会申込書は <http://unit.aist.go.jp/gender/ci/jst/>



# より効果的な 対人コミュニケーションのために

第3回 ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO) セミナー

日時 **2008. 1.22** 火 13:30~15:00  
参加費無料

会場 産業技術総合研究所つくばセンター  
中央第2 つくば本部情報棟 1階  
交流会議室2  
[http://www.aist.go.jp/aist\\_1/guidemap/guidemap\\_main.html](http://www.aist.go.jp/aist_1/guidemap/guidemap_main.html)  
※会場の詳細はホームページでご確認ください。

## PROGRAM

13:30 ~ セミナー  
・大森美香  
(お茶の水女子大学准教授、心理学 PhD、臨床心理士)  
・沖永友貴枝  
(心理学修士、サイコセラピスト)  
15:00 閉会

■ 参加お申し込み方法  
・氏名・所属(企業名、学校名等)・電話番号・メールアドレス  
をご記入の上、下記事務局までメールにてお申し込みください。  
※電話でのお申し込みも受け付けております。  
※メール [diversity-s-office@m.aist.go.jp](mailto:diversity-s-office@m.aist.go.jp)  
※電話 029-862-6419

●本セミナーは、  
文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成)産総研実施課題  
「女性研究者グローバル・エンカレッジング」事業の一環として実施するものです。

## 今後のセミナー予定

第4回  
日時 **2008.2.19** 13:30~

ロールモデルとの懇談  
○株式会社 東芝 技監 土井美和子氏  
○北陸先端科学技術大学院大学 教授 宮地 充子氏

2008年4月以降のセミナーは  
企画中です

主催・ワークショップ事務局

DSO DIVERSITY SUPPORT OFFICE  
a consortium of AIST

ダイバーシティ・サポート・オフィス(産総研コンソーシアム)  
〒305-8568 茨城県つくば市南園1-1-1 中央第2  
つくば本部・情報技術系研究棟 4階  
独立行政法人産業技術総合研究所 男女共同参画室

<http://unit.aist.go.jp/gender/ci/>

参加費無料

産総研男女共同参画室は、  
産総研コンソーシアム  
「ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO)」  
を2007年9月より開設いたしました。

## 第3回セミナーの趣旨

どのような組織であれ、生産性の高いグループ形成のためには効果的な対人コミュニケーションが必須とされています。実践をしながら、効果的な対人コミュニケーションの基礎となる自己理解や他者理解について考えて頂きたいとおもいます。

## キャリアカウンセラーによるグループワークも行います

定員：少人数グループ3~5人  
場所：産総研つくばセンター  
本部情報棟 6205-2会議室

## ストレスマネジメントの方法

2回シリーズ(2回の内容は異なります)

- 1月29日(火) 12:30~14:00
- 2月5日(火) 12:30~14:00

## コミュニケーション向上の方法

上司、部下、同僚など職場内でコミュニケーションに

問題のある場合

2回シリーズ(2回の内容は異なります)

- 2月13日(水) 12:30~14:00
- 2月27日(水) 12:30~14:00

独立行政法人  
産業技術総合研究所  
男女共同参画室

# 研究、あなたは ロールモデルをイメージできますか?

第4回 ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO) セミナー

日時 **2008. 2.19** 火 13:30~15:30  
参加費無料

会場 産業技術総合研究所つくばセンター  
中央第1  
共用講堂 多目的室  
[http://www.aist.go.jp/aist\\_1/guidemap/guidemap\\_main.html](http://www.aist.go.jp/aist_1/guidemap/guidemap_main.html)  
※会場の詳細はホームページでご確認ください。

## PROGRAM

13:30 ~ 産総研コンソーシアム  
「ダイバーシティ・サポート・オフィス」の事業  
ロールモデルの重要性  
田中 敦子(男女共同参画室)  
糸永 伸子(男女共同参画室キャリア・アドバイザー)  
13:40 ~ ロールモデルからの話題提供  
(各氏、25分程度のお話と質疑)  
○株式会社 東芝 技監 土井美和子氏  
○北陸先端科学技術大学院大学 教授 宮地 充子氏

14:50 ~ 懇談  
15:30 閉会  
参加費は無料です

■ 参加お申し込み方法  
・氏名・所属(企業名、学校名等)・電話番号・メールアドレス  
をご記入の上、下記事務局までメールにてお申し込みください。  
※電話でのお申し込みも受け付けております。  
※メール [diversity-s-office@m.aist.go.jp](mailto:diversity-s-office@m.aist.go.jp)  
※電話 029-862-6419

●本セミナーは、  
文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成)産総研実施課題  
「女性研究者グローバル・エンカレッジング」事業の一環として実施するものです。

## 来年度の予定

多数企画中です

## ランチンセミナー

先輩研究者を囲んで、  
話してみよう聞いてみよう!  
忙しい時間の合間にランチを一緒にしませんか。

## 「ロールモデルとの懇談会」

PART 3 以降も企画中です。

主催・ワークショップ事務局

DSO DIVERSITY SUPPORT OFFICE  
a consortium of AIST

ダイバーシティ・サポート・オフィス(産総研コンソーシアム)  
〒305-8568 茨城県つくば市南園1-1-1 中央第2  
つくば本部・情報技術系研究棟 4階  
独立行政法人産業技術総合研究所 男女共同参画室

<http://unit.aist.go.jp/gender/ci/>

PART II

産総研男女共同参画室は、  
産総研コンソーシアム  
「ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO)」  
を2007年9月より開設いたしました。

●本オフィスは、女性研究者支援を目的として次の事業を行います。  
・研究者の「実践支援」のノウハウを提供し、また参加機関相互のノウハウの交流を行います。  
・ロールモデルとの懇談会やキャリアアドバイザーおよびキャリアカウンセラーとの懇談会等を開催します。  
・女性研究者支援 web 等の知識データベースを共に構築します。

“こんな企画を!”

皆様の要望をお寄せ下さい

独立行政法人  
産業技術総合研究所  
男女共同参画室